

「第5回全国私学大会」結果報告

★チーム戦(的中戦) 8位タイ !

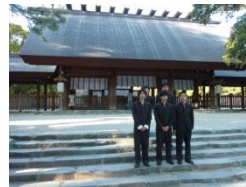


★トーナメント戦 決勝トーナメント進出 ベスト16!

平成27年3月26日(木)~29日(日)に「第5回全国私立高等学校弓道大会」が、日本ガイシスポーツプラザ弓道場で行われました。この大会は、「東京」「大阪」「愛知」の持ち回り開催となり、今回は「愛知県名古屋市」での開催となりました。本校は、この大会3回目の出場となります。過去2回はまったくいいところがありませんでしたが、今回は地力も付いてきて「勝ち負け」を意識して、先週の「中日本大会」に続いて上位入賞を目指し、試合に臨みました。

◆3月26日(木) 公開練習

午前中に大阪を出発、12時前に名古屋に到着しました。午後の公開練習の前に昼食をとることになり、事前にチェックしておいた「インド・ネパール料理」のお店に行きました。なかなか怪しい雰囲気のお店でしたが、とてもおいしかったです。腹ごしらえも済ませて、試合会場に移動。的が15個も立つ大きな弓道場でした。じっくり調整し、ホテルに移動。夕食まで時間があつたので、ホテル近くの「熱田神宮」に参拝に行き、明日からの試合の健闘を誓ってきました。



熱田神宮

公開練習

◆3月27日(金) 大会1日目 開会式・チーム戦1回戦、2回戦

この日の午前中も公開練習の時間があり、午前11時30分監督会議、12時開会式、開会式後、まずは「チーム戦(的中戦)」のスタートです。本校は1立目となり、開会式終了後すぐのあわただしい中、1回戦に挑みました。メンバーは1年西野、場口、2年前田の3人です。1回戦9中と、いつも1立目の悪い本校にとっては最高のスタートをきりました。しかし、続く2回戦は、6中と伸ばしきれず、合計15中で8位タイの位置につけました。チーム戦は6位までの表彰なので、明日の3回戦に入賞の可能性を残しました。



◆ 3月28日(土) 大会2日目 チーム戦3回戦、トーナメント戦1回戦、2回戦

チーム戦の3回戦、入賞に向けての挑戦でしたが、7中と伸びきれず、合計22中で8位タイに終わりました。この3立、大崩することもなく踏ん張りましたが、もうひとつ伸び切れませんでした。他の上位校は、しっかり10、11中を出してきます。この差は非常に大きいと感じました。

落ち込んでいる暇もなく、午後から「トーナメント戦」の予選が始まりました。「トーナメント戦」は3立の合計で、上位16チームが決勝トーナメントに進出できます。本校は過去2回とも予選落ちをしています、今の本校の実力では「予選通過」は最低条件です。きっちり結果を出してもらいたいと思います。

予選1回戦、8中と前日の「チーム戦」と同様、まずまずのスタートです。続く2回戦、「チーム戦」のこともあったので心配しましたが、見事9中とし、合計17中で3位タイにつけて、明日の3回戦を迎えることになりました。

◆ 3月29日(日) トーナメント戦3回戦、決勝トーナメント

予選3回戦、決勝トーナメント進出のかかったプレッシャーのかかる大事な立ちになりましたが、7中と踏ん張り、見事に6位タイで決勝トーナメント進出を決めました。

★決勝トーナメント1回戦 対筑紫台高校(福岡)

1回戦は、福岡の筑紫台高校に決まりました。負けたら終わりのトーナメントの独特の緊張感の中、お互いに的中を伸ばすことが出来ず、筑紫台高校6中、本校も2中、2中、2中の合計6中で同中となり、1本競射で勝敗を決することになりました。結果は・・・本校が呆気なく外して勝負あり、1回戦敗退、ベスト16が決定しました。勝てた試合ただけに悔しい気持ちでいっぱいでした。特に前田は、勝負を決める最後の1本を外してしまい、ここまでの高的中(24射20中)も吹っ飛んで、悔しい思いしか残らなかったと思います。でもよく頑張ったぞ、前田！



試合終了後、名古屋城にでも観光に行こうと考えていましたが、雨が降ってきたこともあり、駅に直結して雨に濡れる心配のない「リニア・鉄道館」に行きました。想像以上の規模の施設で、結構楽しめました。「鉄道ジオラマ」のスケールに圧倒されました。見学後、名古屋駅でお土産を購入して、大阪に帰りました。



■ 26年度の試合がすべて終わりました。

今回の試合で、平成 26 年度の試合はすべて終了しました。それぞれの試合で、たくさんの応援、ありがとうございました。思えば 1 期生が卒業し、2 期生が中心となって迎えた 26 年度ですが、とても充実した 1 年となりました。最大の目標であった「団体でのインターハイ出場」はなりませんでしたが、団体での近畿大会出場を果たし 3 位入賞、9 月には悲願の「大阪総体団体優勝」など、結果を残した 2 期生でした。また、2 期生引退後の新人戦で 3 期生(2 年)の前田が新人戦で個人優勝し、全国選抜大会出場を果たすなど、2 期生に負けずに頑張りました。そして、年度末の「中日本大会」「全国私学大会」では、来年度の中心となる 4 期生(1 年)も頑張り、常に上位入賞争いができる力をつけてきました。本当にいい 1 年だったと思いますが、何か足りないものがあるような気がします。そう、やはり「インターハイ出場」を逃したことが、心のどこかに引っかかっています。

いよいよ新年度がスタートします。4 月には新入生(5 期生)も迎えることになります。3 期生を中心に、心をひとつにして、**26 年度の忘れ物(インターハイ出場)**を取りにいきたいと思います。今後とも応援、宜しくお願いします。

「不可能とは、自らの力で世界を切り拓くことを放棄した臆病者の言葉だ。

不可能とは、現状に甘んじるための言い訳に過ぎない。

不可能とは、事実ですらなく、単なる先入観だ。

不可能とは、誰かに決めつけられることではない。

不可能とは、通過点だ。

不可能とは、可能性だ。

不可能なんてありえない。」